

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **福井市** (都道府県: **福井県**)
 本事業の担当部局名 **総務部未来づくり推進局 女性活躍促進課**

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業			
区分	重点メニュー			
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組			
個別事業名	出愛♥恋々(であいこいこい)応援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	平成29 年度
対象経費支出予定額 (注)1	1,262,000 円			
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け (注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p><地域における実情と課題> 本市においては、国及び福井県の総合戦略並びにこれに基づき実施される事業とも連携しつつ、市としての人口減少対策に特化した計画として令和2年に「第2期 福井市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略(R2~R6)」を策定し、計画的な取組を進めているところである。</p> <p>その中で、自然動態の視点から見る婚姻・出産の状況では、平均初婚年齢が高年齢化(R1:男性30.9歳、女性29.4歳)し、男女ともに晩婚化が進んでおり、未婚率の上昇(30代後半の男性の1/3、女性の1/5は未婚)も顕著である。合計特殊出生率(R1:1.53%)は、全国と比較して高水準を維持しているものの、人口置換水準には届いておらず、少子化が続くことが懸念される。また、市民意識調査(H30)では、独身でいる理由について「結婚する相手と知り合うきっかけがない」が最も多く、未婚化・晩婚化の理由として「独身生活の快適さ」「結婚に対する自由度が上がった」との意見が多くなっており、結婚に対する意識の変化や多様化が進んでいる。</p> <p>このことから、次のことが課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の男女が知り合うきっかけづくりや、結婚・出産に対して希望が持てる施策展開が必要である。 ・誰もが希望する人数の子どもを安心して生み育てられるよう、多子世帯に対する経済的支援や、家庭・企業・地域コミュニティを巻き込んだ子育てサポートや理解促進など、広範な取組が求められる。 ・理想の子ども数と実際の子ども数の差を解消するためには、経済的な不安を取り除くことや、ワークライフバランスの改善などに向けた取組を一層推進することが重要である。 ・企業においては、制度面の充実だけでなく、上司や同僚の理解促進など、制度を活用できる雰囲気づくりが求められている。 <p><本個別事業の位置付け> 「第2期 福井市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」では、少子化対策として、基本目標の1つに「一人ひとりの結婚、出産、子育ての希望がかなう環境づくり」を掲げ、基本的方向として「結婚、出産、子育ての希望がかなう支援の充実」「福井らしさに対応した子育て環境充実」「女性の活躍促進、仕事と家庭の両立」「子どもたちが未来に夢と希望を持てる教育環境づくり」を掲げており、結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援の充実を図るため、各種取組を総合的に推進しているところである。</p> <p>この中で、結婚支援の取組として、具体的施策「結婚意識の醸成と出会いの場の創出」(本個別事業)を実施し、独身男女に結婚したいと思える意識の醸成や出会いの場の提供、交際サポート等の結婚支援策を組み合わせて実施するなど、若者が安心して結婚の希望をかなえられるように後押しを図っていく施策を展開するものである。</p>			
	<p>(本個別事業における現状と課題)</p> <p>市民意識調査(H30)では、独身でいる理由について「結婚する相手と知り合うきっかけがない」が男女ともに最も多い中、結婚に対する意識の変化や多様化も進んでおり、若い世代の男女が知り合うきっかけづくりや、結婚等に対して希望が持てる施策展開が課題となっている。また、従来は一般的であったお見合い結婚や職場内結婚の減少により、出会いや結婚を後押ししてくれる機会が少なくなってきた。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による3密回避や会食自粛によって、民間での出会い自体が減少している中、出会いの機会を求める男女が多くなる状況である。</p> <p>本市は結婚支援事業として、令和3年度から婚活スキルを向上・定着させ、出会いから交際、結婚に繋げていくために、前もって結婚意識や婚活スキルを高める講座を受講し、復習・実践準備の期間を経てから婚活イベントへ参加する「婚活スクール」を開校してきたが、男性に比べ、女性の参加申込者が少なく、女性参加者をいかに増やすかが課題となっている。</p> <p>さらに、婚活スクールは30代の参加者が多く、縁活お助け人(仲人ボランティア)からは「婚活疲れや意欲を失う前に第三者の助言や講座受講が大切」「一度断られると自信を無くす方が多く、早い段階での場慣れが必要」との意見をいただいている。また、婚活講座に参加した受講生から「実際に異性とシミュレーション(練習)したい」との声もいただいている。</p> <p>婚活講座参加者数 R3:20代)男性10人・女性3人 30代前半)男性67人・女性17人 30代後半)男性19人・女性27人 R4:20代)男性10人・女性26人 30代前半)男性41人・女性45人 30代後半)男性39人・女性12人</p>			

(課題への対応)

これらの課題に対応するため、独身男女を対象に、より前向きに結婚・婚活したいと思える意識の醸成や婚活スキルを向上させる講座(男女別にコース分け)、婚活イベントへの参加、仲人ボランティアによるイベント後のサポートなどを組み合わせ、出会いから交際、結婚に至るまで一貫した支援を行うことを目的に「婚活スクール」を開校する。

また、婚活の敷居を下げ、20代に気軽に参加してもらうよう、スクール学び編では、新たに婚活初心者や婚活未経験の男女を対象に、婚活のいろはを学ぶ男女別講座と、練習と銘打ったお見合いをセットで実施する実践型学びイベントを開催する。 スクール実践編となる婚活イベントでは、婚活初心者や婚活未経験の男女を対象に自宅で気軽に参加しやすいオンライン形式の婚活イベントを開催する。

番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
1	婚活スクール学び編(結婚意識や婚活スキルを高める講座)の開催	<p>1 婚活スクール学び編 男女のニーズの違いを踏まえ、男性と女性にコース分けし、結婚・婚活したいと思える意識の醸成や婚活スキルを高める講座や独身の子を持つ親子の関わり方を学ぶセミナーを開催する。</p> <p>また、<u>新たに婚活初心者や婚活未経験の男女を対象に、婚活のいろはを学ぶ男女別講座と、練習と銘打ったお見合いをセットで実施する実践型学びイベントを開催する。</u> なお、講座の受講により婚活意欲が高まった参加者にマッチングシステムの登録を促す。</p> <p>男性コース(スクール型) ・婚活スクール開校式(婚活の心構え講座) スクールの開校式を開催し、参加者が持つ漠然とした結婚意識を明確化させ、より前向きに婚活したいと思える意識を醸成するとともに、婚活の心構えを学ぶ講座を実施する。 対象者:誠実に結婚を希望する独身男性 開催数:前・後期に各1回(年間2回) 参加者:定員24人×2回(年間48人)</p> <p>・婚活スキルを高める個別レッスン講座 アプローチ方法やデートでの会話スキル等に加え、プライベートな悩みや参加者に合わせた具体的なアドバイスなど、講師と1対1で学ぶ個別レッスン講座を開催する。 対象者:開校式に参加した独身男性 開催数:前・後期に各4回(年間8回) 参加者:定員6人×8回(年間48人) 開校式参加者を対象とするため募集チラシ配付なし</p> <p>女性コース(単発セミナー型) ・婚活意欲を高める自分磨き講座 女性自身の魅力を高める自分磨き講座と、前向きに結婚・婚活したいと思える意識を醸成する講座を組み合わせた2部制の講座を開催する。 対象者:独身女性(ターゲットは婚活初心者や婚活未経験者の女性) 開催数:年間4回 参加者:定員20人×4回(年間80人)</p> <p>・婚活疲れ・婚活迷子の方への婚活セミナー 選ばれる女性の特徴や婚活疲れ・お悩みの解決方法等を交えた婚活セミナーを開催する。 対象者:誠実に結婚を希望する独身女性(ターゲットは婚活疲れ・婚活迷子の女性) 開催数:年間1回 参加者:定員20人(年間20人)</p> <p>実践型学びコース ・婚活練習イベント <u>婚活初心者や婚活未経験の男女を対象に、婚活のいろはを学ぶ男女別講座と、練習と銘打ったお見合いをセットで実施する実践型学びイベントを開催する。</u> 対象者:結婚を希望する独身男女(ターゲットは婚活初心者や婚活未経験者) 開催数:年間1回 参加者:定員 男女各10人(年間20人)</p> <p>その他コース ・親のための結婚応援セミナー 独身の子を持つ親を対象に、独身者を取り巻く現状や親子の関わり方、ライフプランを描く重要性等を学ぶセミナーを開催する。 対象者:独身の子を持つ親(ターゲットは婚活未経験者の子をもつ親) 開催数:年間1回 参加者:定員30人(年間30人)</p> <p>[1 募集チラシ配布内訳(1回あたり):公益施設設置800部、店舗・協力企業等配布700部、協議会・他市町配布500部]</p> <p>婚活マニュアル(婚活のススメ)の配付 婚活スクールの参加者やマッチングシステムの登録者を対象に、出会いから交際に至るまでのアプローチ方法や、交際が順調に進むようLINE・メールのやりとりのコツなどをまとめたマニュアルを配付する。 配付物:アプローチマニュアル 男性版・女性版(2種類) [配付内訳:婚活スクール参加者 200部、マッチングシステム登録者等 100部]</p>		

個別事業の内容 (注)3	2	出合いの機会の提供	<p>2 婚活スクール実践編 婚活スクール学び編の参加者を対象に、コミュニケーション力を向上させる講座を組み込んだ対面型の婚活イベントを開催する。また、婚活初心者や婚活未経験の男女を対象に自宅で気軽に参加しやすいオンライン形式の婚活イベントを開催する。 なお、継続的な出合いの機会を提供するため、マッチングシステム未登録の参加者にはマッチングシステムの登録を促す。 イベントを実施する際には、縁活お助け人(仲人ボランティア)が参加している男女間交流の促進とイベント後の交際サポートを行い、希望者には結婚相談等のアフターフォローを実施する。</p> <p>1対1のお見合い婚活イベント 1対1でじっくり話ができるお見合いを対面型のイベント形式で開催する。また、当日のイベント直前にすぐ実践できるコミュニケーション講座を実施する。 対象者:誠実に結婚を希望する独身男女 開催数:前・後期に各1回(年間2回) 参加者:定員 男女各20人×2回(年間80人) R4.7月に実施した同様のイベント申込者数 男性98人・女性30人(定員 男女各20人)</p> <p>気軽に参加できるオンライン婚活イベント 婚活初心者や婚活未経験の男女を対象に、当日使えるコミュニケーション講座と、自宅で気軽に参加しやすいオンライン形式の婚活イベントを開催する。 対象者:結婚を希望する独身男女(ターゲットは婚活初心者や婚活未経験者) 開催数:年間1回 参加者:定員 男女各10人(年間20人) R4.2月に実施した同様のイベントの申込者数 男性32人・女性16人(定員 男女各10人)</p> <p>[2 募集チラシ配布内訳(1回あたり):公益施設設置800部、店舗・協力企業等配布700部、協議会・他市町配布500部]</p> <p>マッチングシステムを運営するふくい結婚応援協議会への加盟 婚活スクール参加者に対して、県と市町で構成する「ふくい結婚応援協議会」が運営するマッチングシステム(令和3年4月から本格稼働)への登録を促し、継続的な出合いの機会を提供するため、引き続き協議会に加盟し、協議会と連携・協働した事業を展開する。(マッチングシステムやその受付・運用を行うふくい婚活サポートセンターの運営、広域的なイベント・セミナー等にかかる協議会事業費を負担)</p> <p>結婚を希望する方には、着実に結婚につながるようするため、単に婚活イベントを実施するだけでなく、次の結婚支援の取組と有機的に連携させ、より効果的な事業展開を図る。 [他の結婚支援との有機的な連携1 1 婚活スクール学び編との連携] 婚活イベントの参加者は、1 の婚活スクール学び編の参加者を優先する。結婚意識や婚活スキルが高まった参加者がイベントに参加することで、交際・結婚につながる可能性が高いイベントとすることができる。</p> <p>[他の結婚支援との有機的な連携2 仲人ボランティア「縁活お助け人」との連携] 県の結婚支援策として登録・養成を進めている結婚応援ボランティア「地域の縁結びさん」を、市の「縁活お助け人」に登録し、イベント中の男女間交流を支援するとともに、イベント後も引き続き、結婚につながるサポート体制を構築する。</p> <p>[他の結婚支援との有機的な連携3 2 ふくい結婚応援協議会との連携] マッチングシステムを運営する2 の「ふくい結婚応援協議会」と連携し、婚活スクールを共同開催するとともに、1 2 の婚活スクール参加者にマッチングシステムの登録を促す仕組みを構築することで、婚活イベント参加者に、マッチングシステムによる継続的な出合いの機会を提供する。</p>	
	[次年度以降に向けた事業の方向性] 次年度以降も「ふくい結婚応援協議会」と連携・協働しながら、本個別事業を継続して実施していく。また、事業実施においては、取り組み上での課題や効果を協議会や縁活お助け人等と検証・協議を行い、より効果的・効率的に、結婚意識や婚活スキルの向上、多様なニーズに対応した出合いの場を提供し、出合いから交際、結婚に至るまで一貫した支援を行っていく。 なお、令和6年度の本交付金活用においては、「ふくい婚活サポートセンター」が設置後3か年を経過することから、本センターの運営に係る負担金(広域的イベントやセミナー等の事業に係る負担金を除く)については対象としない予定。	[事業内容を検討する上で参考とした既存事業] -		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
		結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合	%	90 (令和6年)
参考指標 (注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率		1.50 (令和2年)	
	婚姻件数	件	1,165 (令和2年)	
	婚姻率		4.4 (令和2年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	1 婚活スクール学び編			
	参加者数	人	222	173 (R4)
	募集定員数に対する参加者数の割合	%	90	79 (R4)
	参加者の講座に対する満足度	%	90	98 (R4)
	結婚への意欲が高まった(子の婚活に前向きになった)参加者の割合	%	90	94 (R4)
	婚活(子の婚活)に対し自信がついた参加者の割合	%	80	92 (R4)
	2 婚活スクール実践編			
	参加者数	人	100	134 (R4)
	募集定員数に対する参加者数の割合	%	100	93 (R4)
	参加者のイベントに対する満足度	%	90	98 (R4)
	婚活に前向きになった参加者の割合	%	90	99 (R4)
	引き合わせ成立者数	人	45	55 (R4)
	参加者数に対する引き合わせ成立者数の割合	%	45	41 (R4)
	2 仲人ボランティアによるフォローアップ			
	参加者のうち、フォローアップを受けた者の割合	%	80	91 (R4)
	ボランティアの支援を受けた者の満足度	%	80	95 (R4)
	2 ふくい結婚応援協議会との連携(自治体間連携)			
	マッチングシステムに登録している婚活スクール参加者数	人	150	115 (R4)
	婚活に前向きになったシステム登録者の割合	%	90	99 (R4)
マッチングシステムに登録している婚活スクール参加者数に対する引き合わせ成立者数の割合	%	45	35 (R4)	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)7	<p>県と市町で構成する「ふくい結婚応援協議会」と連携・協働し、婚活スクールを共同開催するとともに、婚活スクール参加者に協議会が運営するマッチングシステムへの登録を促す仕組みを構築する。</p> <p>役割分担として、婚活スクールの講座・イベントの運営は、協議会と福井市がスタッフとして従事するとともに、開催費用を協議会と福井市で1/2ずつ折半する。</p> <p><自治体間連携により実施する事業> 福井県：オールふくい連携婚活応援事業 福井市：出愛♥恋々(であいこいこい)応援事業</p> <p><自治体間連携により効果的・効率的になる内容> 「婚活スクール」の講座やイベントを、より効果的・効率的なものとし、ニーズに合わせた様々な出会いの機会を提供するため、マッチングシステムを運営する「ふくい結婚応援協議会」(県と市町で構成)と連携・協働し、婚活スクールを共同開催する。</p> <p>スクールは、参加者を広く県域で募集し、新規参加者とマッチングシステム登録者の増加を図るとともに、参加者が結婚意識や婚活スキルを高めてから、婚活イベントやマッチングシステムなどの出会いの場へ継続的に臨めるようにすることで、実際に至る可能性を高め、結婚につなげていく。</p>			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)8	<p>本個別事業の参加者は、「子育てファミリー応援企業」に登録している企業(市内で約200社)や、県が展開する「ふくい結婚応援企業」(県内で約400社)に登録している企業にも働きかけ、募集する。</p>			

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **福井市** (都道府県: **福井県**)
 本事業の担当部局名 **総務部未来づくり推進局 女性活躍促進課**

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_機運醸成事業			
区分	一般メニュー			
関連事業メニュー	3.1.4 ライフデザインセミナーの実施			
個別事業名	結婚っていいネ！魅力発信事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	令和4 年度
対象経費支出予定額 (注)1	66,000 円			
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け (注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p><地域における実情と課題> 本市においては、国及び福井県の総合戦略並びにこれに基づき実施される事業とも連携しつつ、市としての人口減少対策に特化した計画として令和2年に「第2期 福井市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略(R2~R6)」を策定し、計画的な取組を進めているところである。 その中で、自然動態の視点から見る婚姻・出産の状況では、平均初婚年齢が高年齢化(R1:男性30.9歳、女性29.4歳)し、男女ともに晩婚化が進んでおり、未婚率の上昇(30代後半の男性の1/3、女性の1/5は未婚)も顕著である。合計特殊出生率(R1:1.53%)は、全国と比較して高水準を維持しているものの、人口置換水準には届いておらず、少子化が続くことが懸念される。また、市民意識調査(H30)では、独身でいる理由について「結婚する相手と知り合うきっかけがない」が最も多く、未婚化・晩婚化の理由として「独身生活の快適さ」「結婚に対する自由度が上がった」との意見が多くなっており、結婚に対する意識の変化や多様化が進んでいる。 このことから、次のことが課題となっている。 ・若い世代の男女が知り合うきっかけづくりや、結婚・出産に対して希望が持てる施策展開が必要である。 ・誰もが希望する人数の子どもを安心して生み育てられるよう、多子世帯に対する経済的支援や、家庭・企業・地域コミュニティを巻き込んだ子育てサポートや理解促進など、広範な取組が求められる。 ・理想の子ども数と実際の子ども数の差を解消するためには、経済的な不安を取り除くことや、ワークライフバランスの改善などに向けた取組を一層推進することが重要である。 ・企業においては、制度面の充実だけでなく、上司や同僚の理解促進など、制度を活用できる雰囲気づくりが求められる。</p> <p><本個別事業の位置付け> 「第2期 福井市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」では、少子化対策として、基本目標の1つに「一人ひとりの結婚、出産、子育ての希望がかなう環境づくり」を掲げ、基本的方向として「結婚、出産、子育ての希望がかなう支援の充実」「福井らしさに対応した子育て環境充実」「女性の活躍促進、仕事と家庭の両立」「子どもたちが未来に夢と希望を持てる教育環境づくり」を掲げており、結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援の充実を図るため、各種取組を総合的に推進しているところである。 この中で、結婚支援の取組として、具体的施策「結婚意識の醸成と出会いの場の創出」(本個別事業)を実施し、若者が安心して結婚や出産、子育ての希望をかなえられるよう、結婚等に前向きなイメージが持てる意識を醸成する施策を展開するものである。</p> <p>(本個別事業における現状と課題) 市民意識調査(H30)では、自身が考える未婚化・晩婚化の理由について「独身生活の快適さ」「結婚に対する自由度が上がった」が男女ともに多く、結婚に対する意識の変化や多様化が進んでいることから、結婚や出産、子育て等に前向きなイメージが持てる意識を醸成する施策展開が課題となっている。また、県結婚・子育てニーズ調査では、婚活を経験したことがない人の割合が男女ともに増加しており、婚活の意欲が低下している状況である。 本市は結婚・子育て等の意識醸成事業として、令和4年度から若手社会人を対象に、将来の結婚、妊娠・出産、子育て等のライフプランを描く未来デザイン講座を開催したが、参加申込みが定員割れとなっており、受講者をいかに増やすかが課題となっている。</p> <p>(課題への対応) これらの課題に対応するため、若手社会人を対象に、将来の結婚、妊娠・出産、子育て等のライフプランを描く未来デザイン講座を開催する。 <u>また、若手社会人の参加者を増やすため、市内企業を対象とした出前型の講座を実施する。</u></p>			

個別事業の内容	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	ライフプランを描く未来デザインセミナーの開催	・ライフプランを描く未来デザイン出前講座 企業を対象とした若手社員向けに、将来の結婚、妊娠・出産、子育て等のライフプランを描く未来デザイン出前講座を開催する。 対象者：市内企業に勤務する若手社員等 開催数：年間2回 参加者：定員20名×2回（年間40名） 【募集チラシ配布内訳（1回あたり）：協力企業700部、公益施設設置等配布300部】		
(注)3	【次年度以降に向けた事業の方向性】 次年度以降も未来デザイン講座を実施していく。講座実施においては、より具体的・効果的にライフプランがイメージできるよう、令和4年度で作成した結婚応援マガジンを講座内で活用し、結婚や出産、子育てに前向きなイメージが持てる意識を醸成していく。				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 群馬県 ライフデザイン支援事業					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合		%	90（令和6年）	92.0（令和3年）
参考指標 (注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.50（令和2年）	
	婚姻件数		件	1,165（令和2年）	
	婚姻率			4.4（令和2年）	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	参加者数		人	32	11(R4.1月時点)
	募集定員数に対する参加者数の割合		%	80	37(R4.1月時点)
	参加者の講座に対する満足度		%	90	100(R4.1月時点)
	ライフプランについて考えるきっかけとなった参加者の割合		%	90	100(R4.1月時点)
	結婚意識が明確になった参加者の割合		%	90	91(R4.1月時点)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)7	他自治体との連携等の予定はない				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)8	本個別事業の参加者は、「子育てファミリー応援企業」に登録している企業（市内で約200社）や、県が展開する「ふくい結婚応援企業」（県内で約400社）に登録している企業にも働きかけ、募集する。				